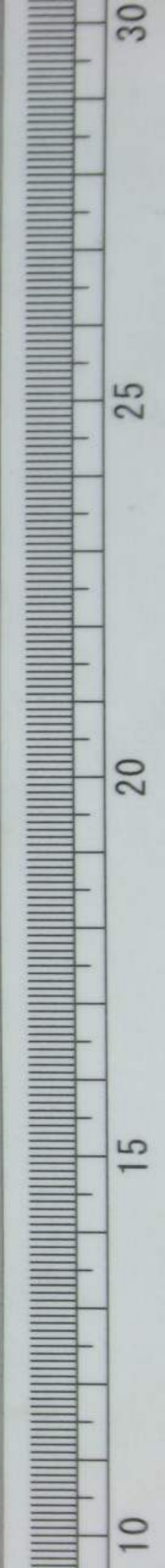




佛譜

佛學名所一覽  
初編

津田文庫  
文庫 1  
1630



早稲田大学  
図書館蔵書

連日庵不老撰  
子伯菴之波蘭

桂々居貞之編

# 俳諧淺草名所一覽

諸名重交筆

書林

篤尚堂梓

多しむそいそよ  
中程より尤甘き  
をこつと新し  
此集を改むとの  
ありし所あり  
此より下より  
此集よりた

つた文庫

一

010190608110

吾所... 結... 也... 有... 也...  
吾所... 結... 也... 有... 也...  
吾所... 結... 也... 有... 也...  
吾所... 結... 也... 有... 也...

了色... 空... 寂... 滅...

齋精

1630

初... 日... 也...  
初... 日... 也...  
初... 日... 也...  
初... 日... 也...

法眼... 齋... 正... 經...  
法眼... 齋... 正... 經...  
法眼... 齋... 正... 經...  
法眼... 齋... 正... 經...

法眼齋

三十一

亦

東方朔首風

景人間第一

仙鶴

秋聲志道題



三

思。高。志。思。の。名。や。あ。ま。れ。名。に。ら  
海。州。親。考。あ。ま。ま。様。々。物。指。の。袖。よ。身。に  
夕。神。の。一。待。字。の。指。の。一。月。の。如。か  
道。指。の。一。字。あ。ま。ま。様。々。物。指。の。袖。よ。身。に  
ね。か。ま。あ。ま。ま。様。々。物。指。の。袖。よ。身。に  
せ。れ。ら。ん。は。指。の。一。字。あ。ま。ま。様。々。物。指。の。袖。よ。身。に  
集。博。の。信。ち。あ。ま。ま。様。々。物。指。の。袖。よ。身。に

他力本願の義の無常親證を以て廣く  
法の如くしてありて平の市に賣物所  
せまのまゝの物もさへ其の徳に獲て  
しるがごとく山なるたゞぬふらうと  
あま娘のいほきもこれあはれりやう

人 まま様 精々 貞之

あまのこゝろ

田 兼

三四止

系をぬ地の海鋪二層屋近々  
けしきも吾海家の然るに旧跡多  
石の杖も名のみわきまは流し  
不韌なと戯場有風小の事  
振を極く其の地は時  
柱は居居之見も  
出加へ人も  
由來を記し  
刻を以て  
年子座を

笠亭仙果

信隆

一 江戸藩子丹澤子清又附を以て小指を以て海を以て左ふ  
乃其号を丹町と爲し遠近所々所を以て屋敷を以て丹  
子清の地を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て

一 福井町の地名神本銀者名の所くの樹を以て丹  
の長所を以て古木と爲し神本銀者名の樹を以て丹  
者名を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て

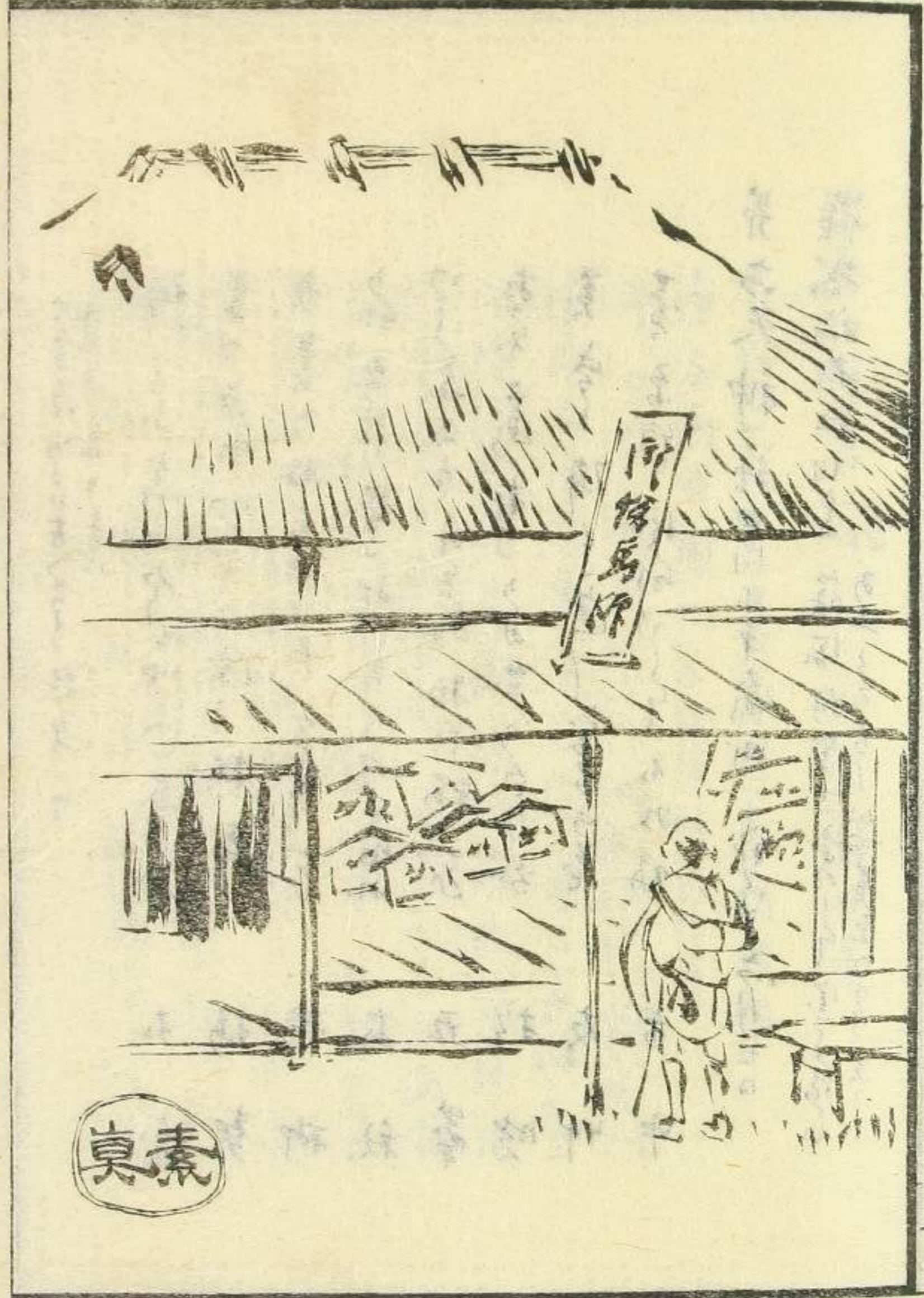
一 横濱町を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て  
寛永六年六月十二日高地一帯地を以て丹子清の地を以て  
所同十一年三月六日幕下同じく丹子清の地を以て

附言

一 御学名を以て一帯の地を以て丹子清の地を以て  
諸名あり丹子清の地を以て丹子清の地を以て

此地は丹子清の地を以て丹子清の地を以て  
丹子清の地を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て  
丹子清の地を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て

一 御編の名人を以て一帯の地を以て丹子清の地を以て  
丹子清の地を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て  
丹子清の地を以て丹子清の地を以て丹子清の地を以て



浅草御見附  
 第所  
 古圖  
 日高屋



去りて  
 急小町  
 梅屋  
 貞之

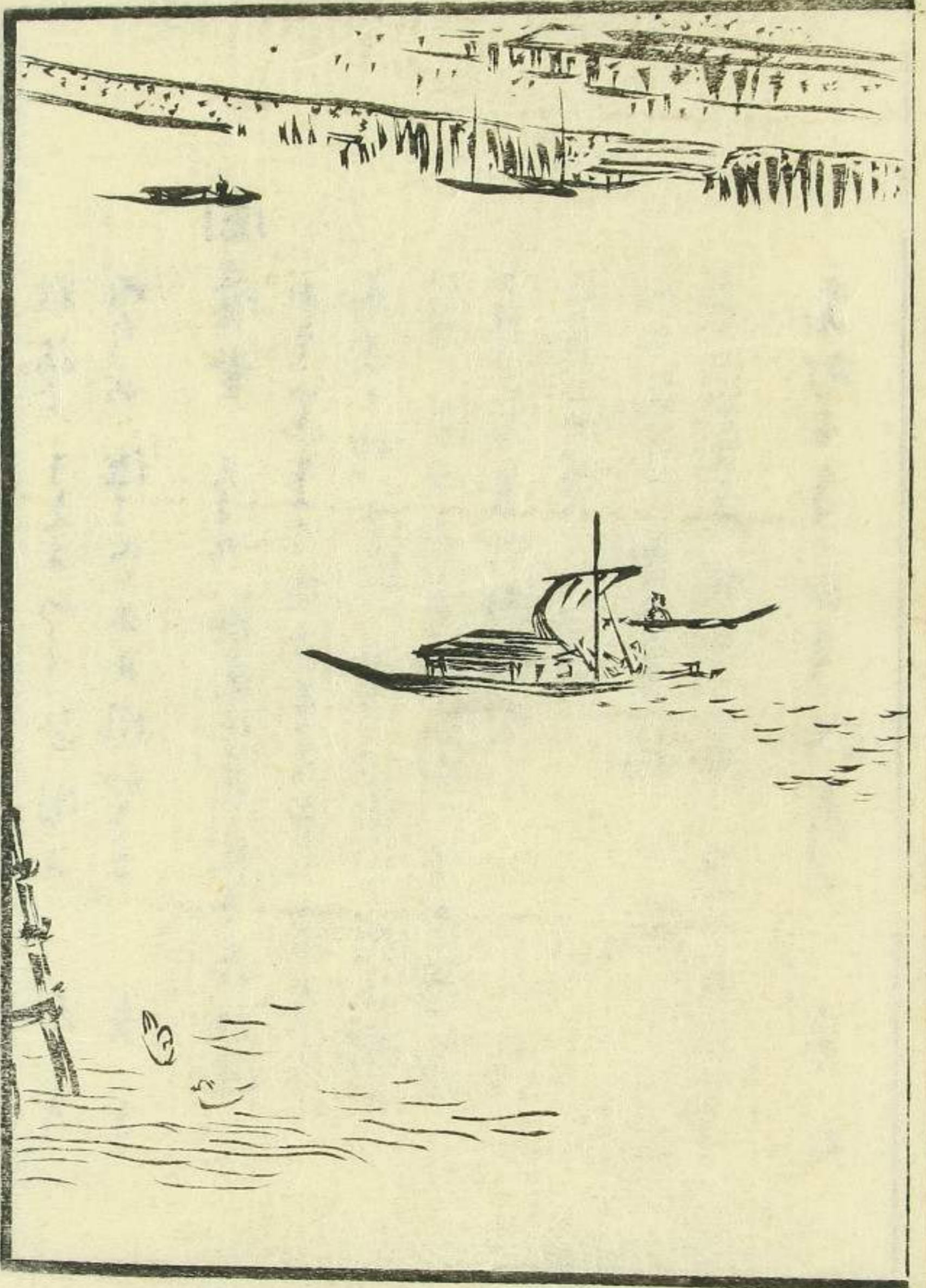
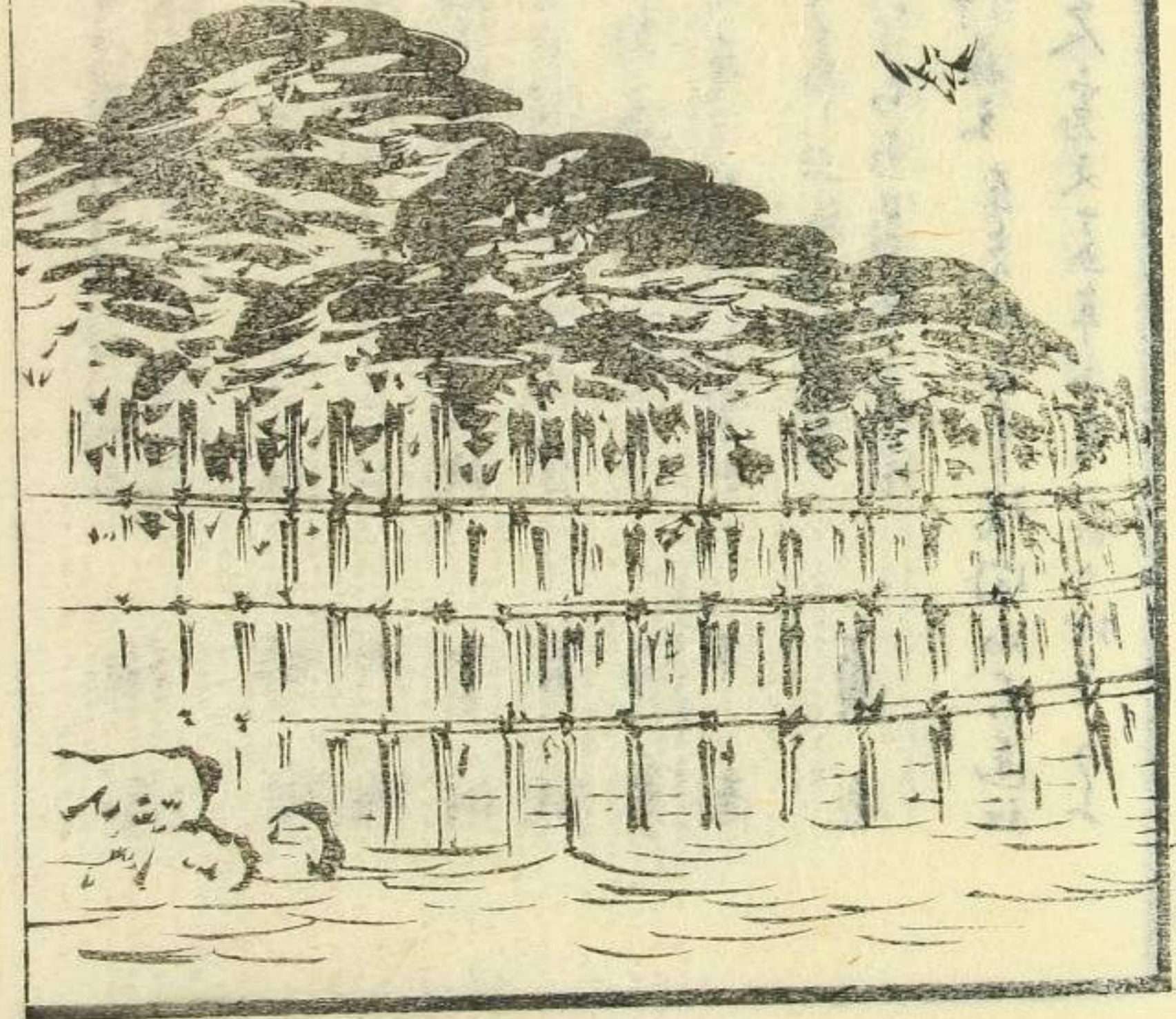






淺草八  
景之内  
首尾之  
松夜兩

真素





既川岸



舟

舟と志より身此舟中鴨と志  
 蓮華の玉申と志なり 船と志  
 時雨と舟と志兼て舟と志  
 又志と舟と志舟と志舟と志  
 梅と舟と志舟と志舟と志  
 福と舟と志舟と志舟と志

松  
 蕉 栗  
 祖 々  
 貞 之  
 小 舟  
 水 谷  
 一 求

極寺 黒丹町

地中山正院開山親智国師  
 本寺臨濟佛 貞心増城の作  
 社名大徳院 以縁化ホ毎年来修多燈面下地  
 石地之物 極寺小貝百の燈の影を叶ふと志

菅煮翁塚 名月と白首  
六村園亭雅墓 地中誓水陰門入石中

福徳明神 可丁

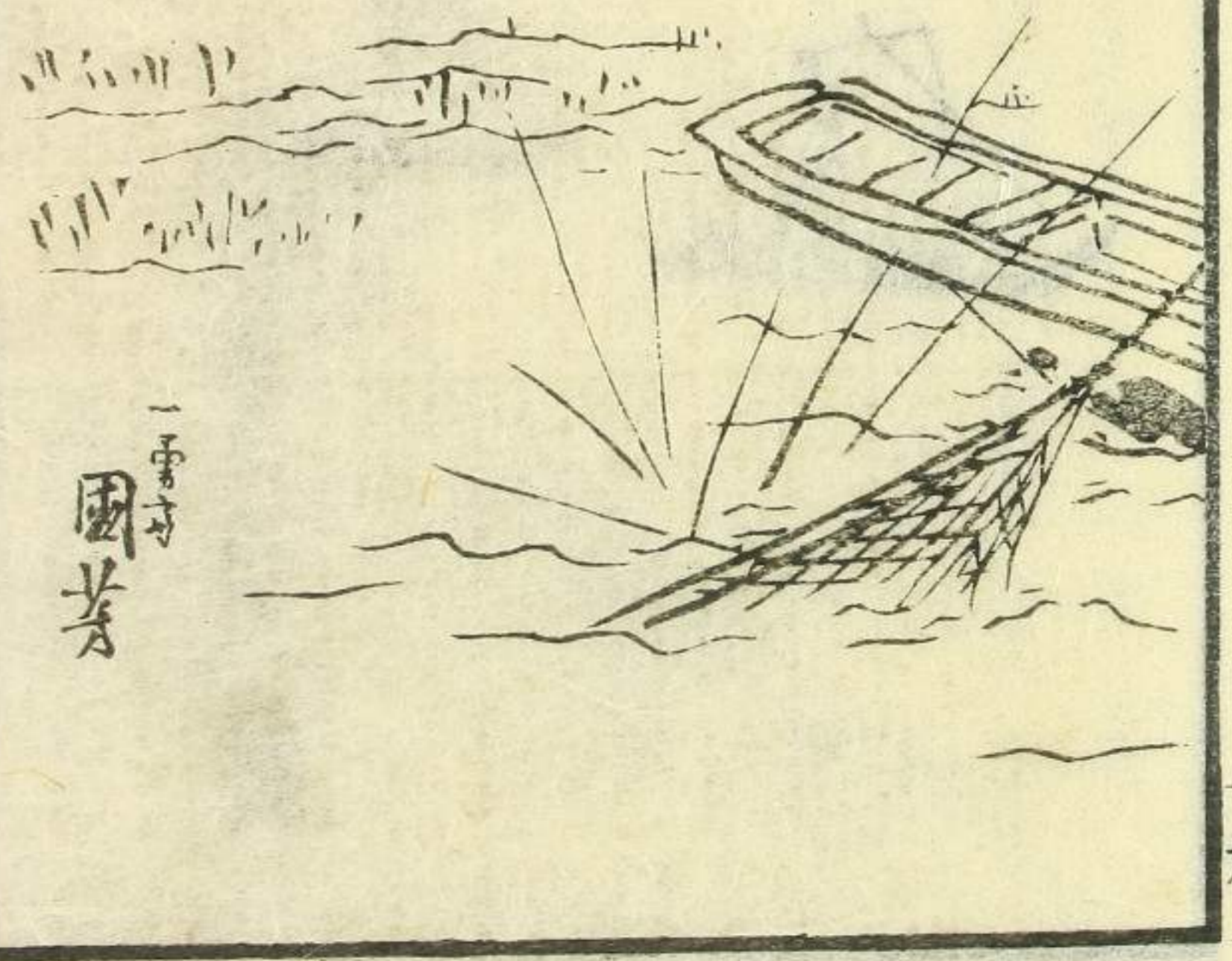
宮戸門

涉る事と 親世より 多像出現 吾ら  
積古天皇 乙未年 戊子之月十日  
出師 長弁 知乃 権兵衛 淡成 成成  
等 之後 之人 あり 宮戸門 細  
下 此本 有り といふ 事 あり 八  
福徳 あり といふ

菅煮翁塚 名月と白首  
六村園亭雅墓 地中誓水陰門入石中  
福徳明神 可丁  
宮戸門  
涉る事と 親世より 多像出現 吾ら  
積古天皇 乙未年 戊子之月十日  
出師 長弁 知乃 権兵衛 淡成 成成  
等 之後 之人 あり 宮戸門 細  
下 此本 有り といふ 事 あり 八  
福徳 あり といふ

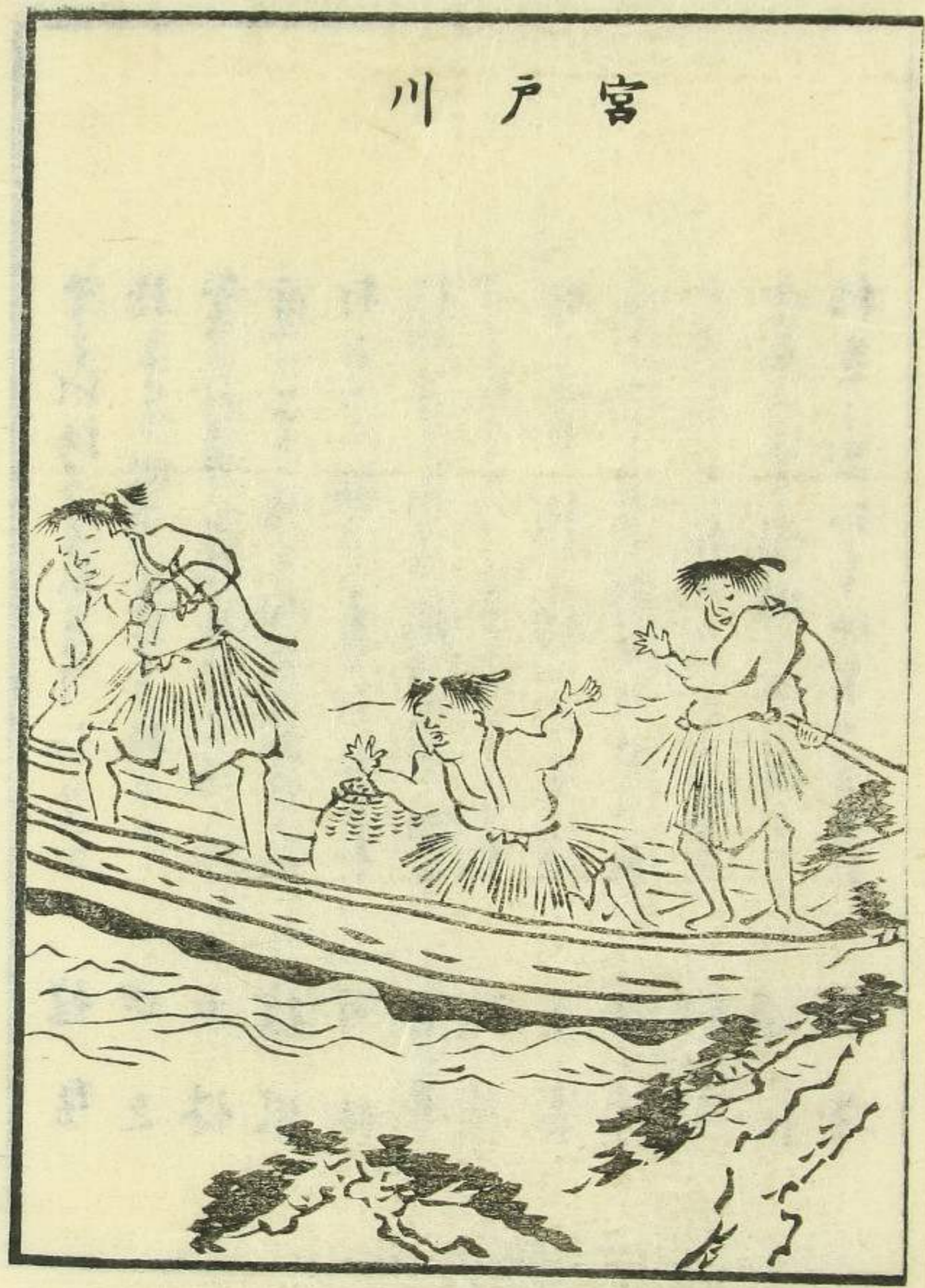
餘勢 由之 五休 徐風 可他 有亭 村旗 葉長 孫風 松舎 風翔 竹葦

新乃天心  
 加心  
 孝之升  
 阿之きあを  
 浮之り  
 月豊  
 植

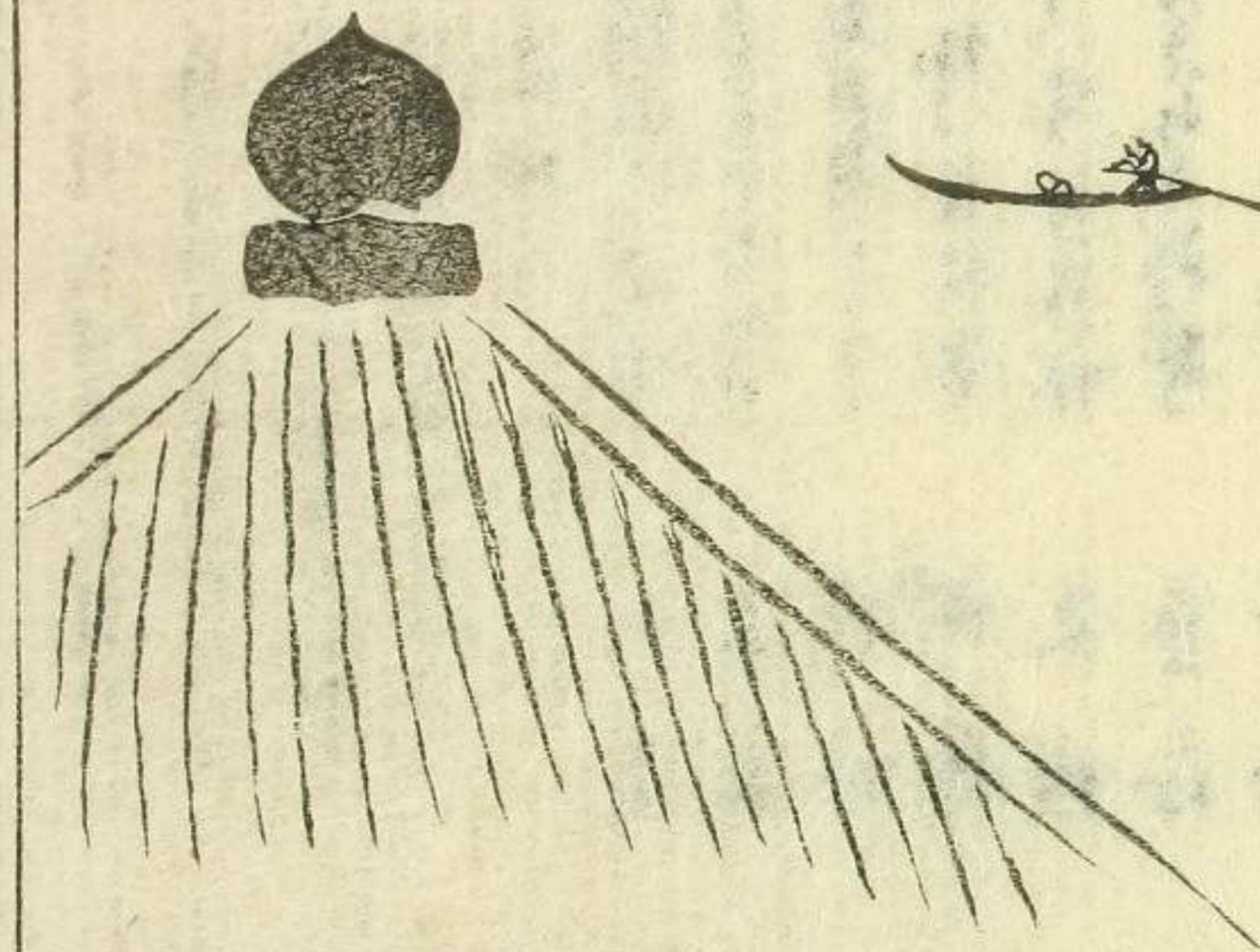


一  
 園芳

川戸宮



八景之  
內駒形  
歸帆



駒形堂



駒形堂圖

駒形堂

初形所

多堪觀世多其置以

室文年中板本在四角の駒形堂の御堂古熱門は小方

安房平の陸建の事と云ふは八段古長所は

橋本株植多しと云ふ日本画圖の事多南向北

名物 海苔 白魚 紫鯉

名月の中光りて清川の山人堂

初夏

清川の中駒形堂の御堂古熱門は小方

萬長

江上向ふ安房の御堂古熱門は小方

掃風

雲の御堂古熱門は小方

曲儀

駒形の中駒形堂の御堂古熱門は小方

文程

川風の中駒形堂の御堂古熱門は小方

魚心

不

秀

並木町

多山所金龍山熱門の御堂古熱門は小方

白駒の中駒形堂の御堂古熱門は小方

不

金駒の中駒形堂の御堂古熱門は小方

知

清駒の中駒形堂の御堂古熱門は小方

漁

旧家 海店止家

金龍山淺草寺持法院

坂東平の御堂古熱門は小方

名物 海苔 白魚 紫鯉

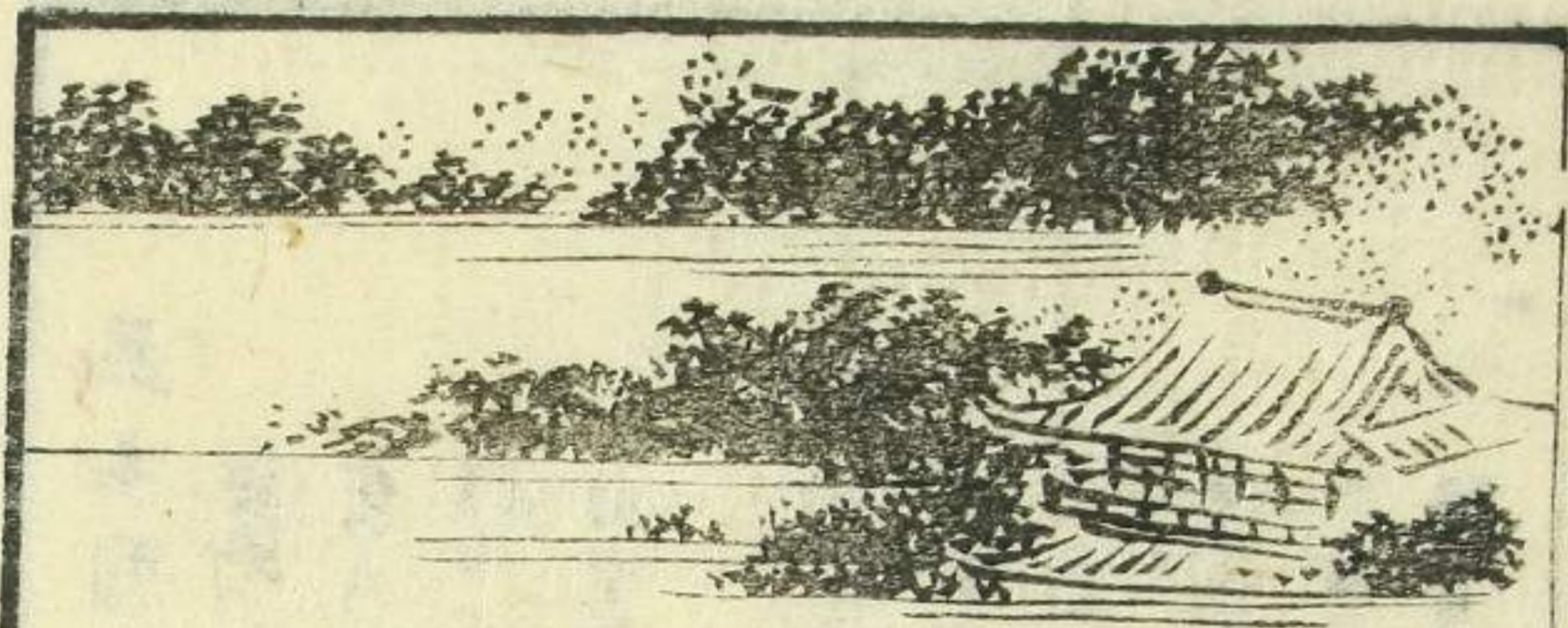
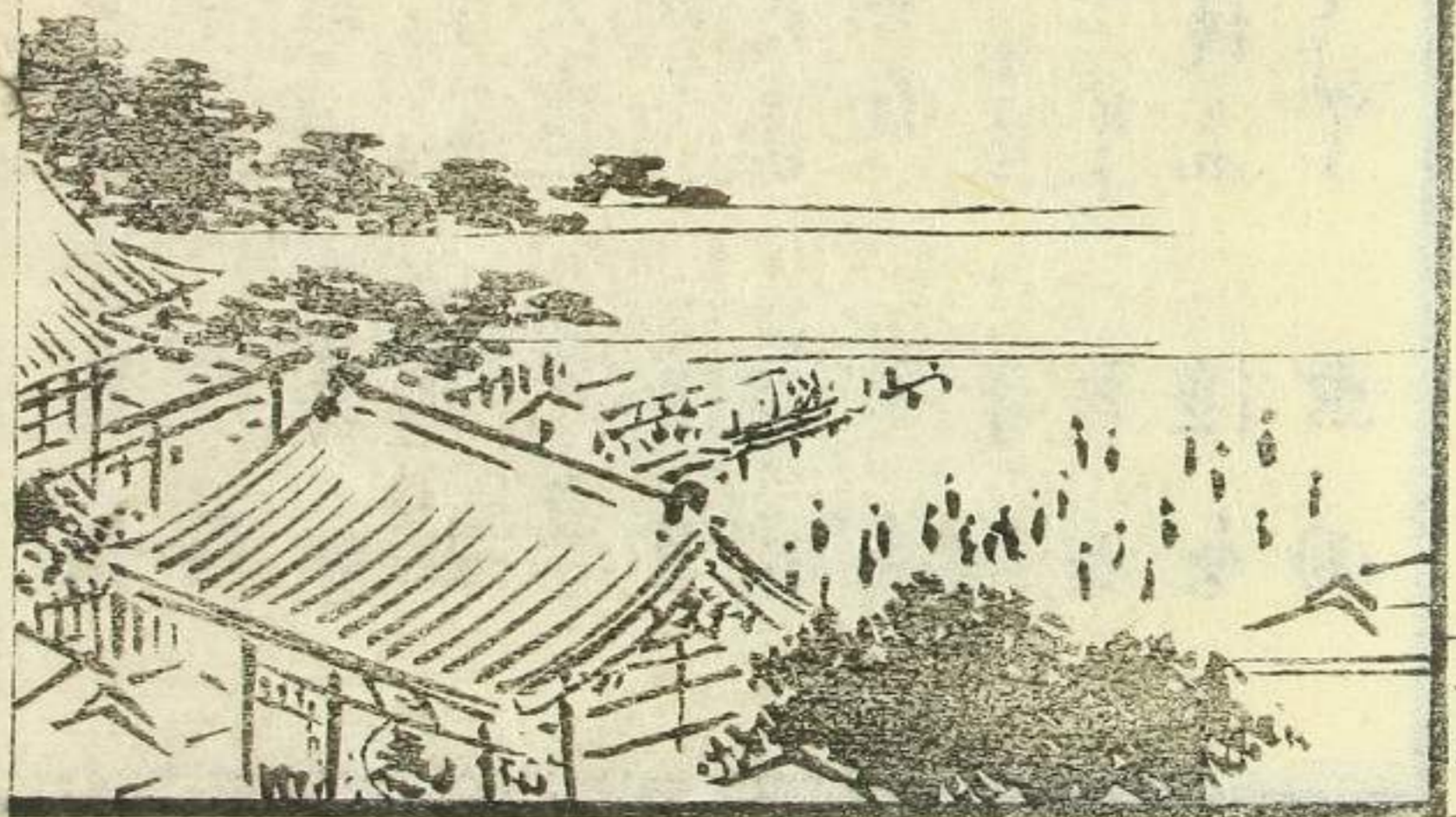
安房平の御堂古熱門は小方

一知の中駒形堂の御堂古熱門は小方

極



金龍山淺草寺  
 雷神門  
 宮戸川  
 太神宮



塔

八景之内  
 淺草寺  
 晚鐘



高水年并山地... 料理新野...

雪と... 人... 千... 酒... 雪... 西馬...

下戸... 思... 棧... 由...

園外

雪も... 事... 雪... 松...

子東

金龍山裏  
田甫一圓  
子東村

ハ系の内  
子東村

申のふみ来り里を詠む  
心一紙也田子村のふみ

上奥

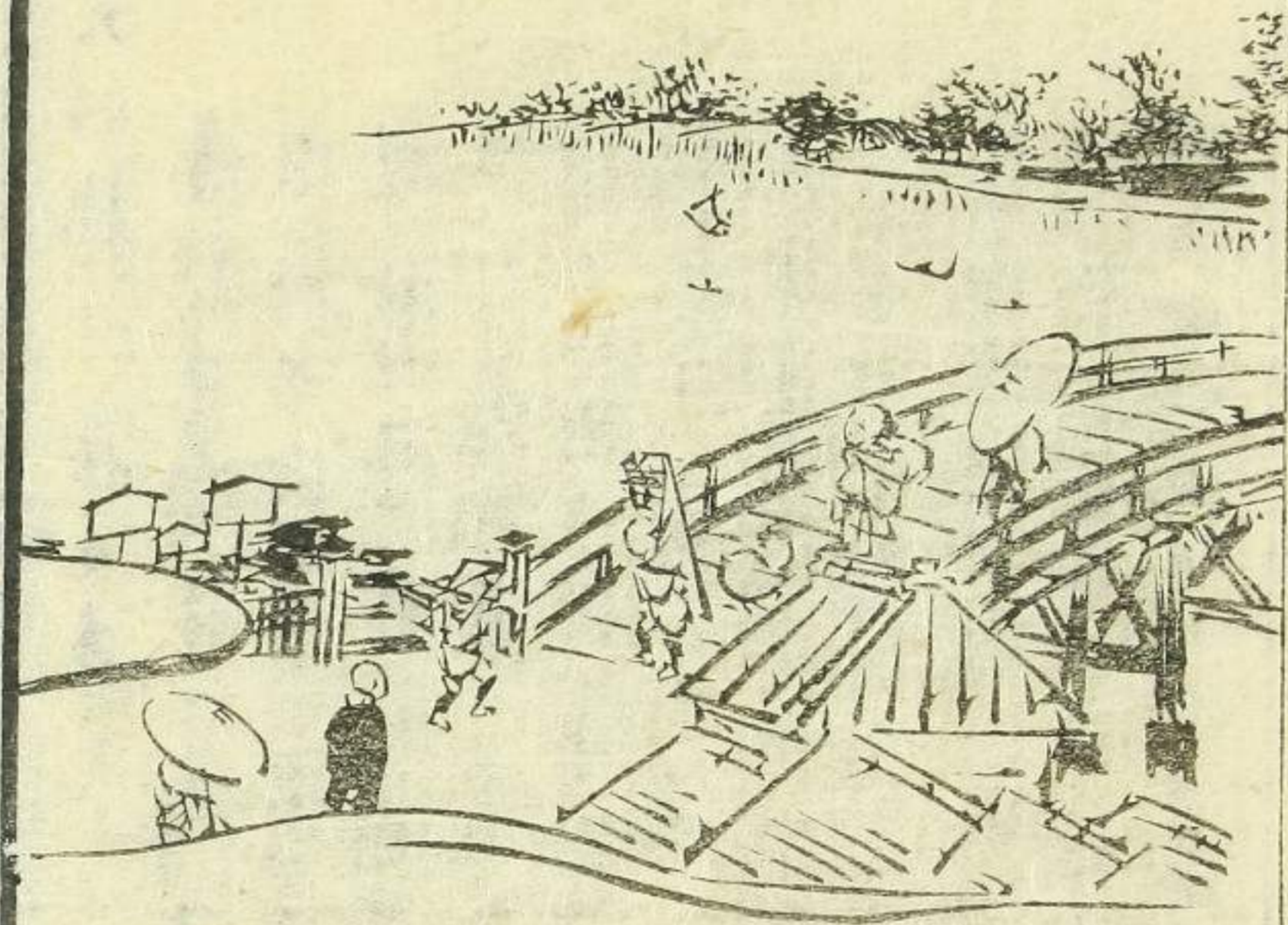


完





八景之内大川橋夕照



森高

六躰地藏尊

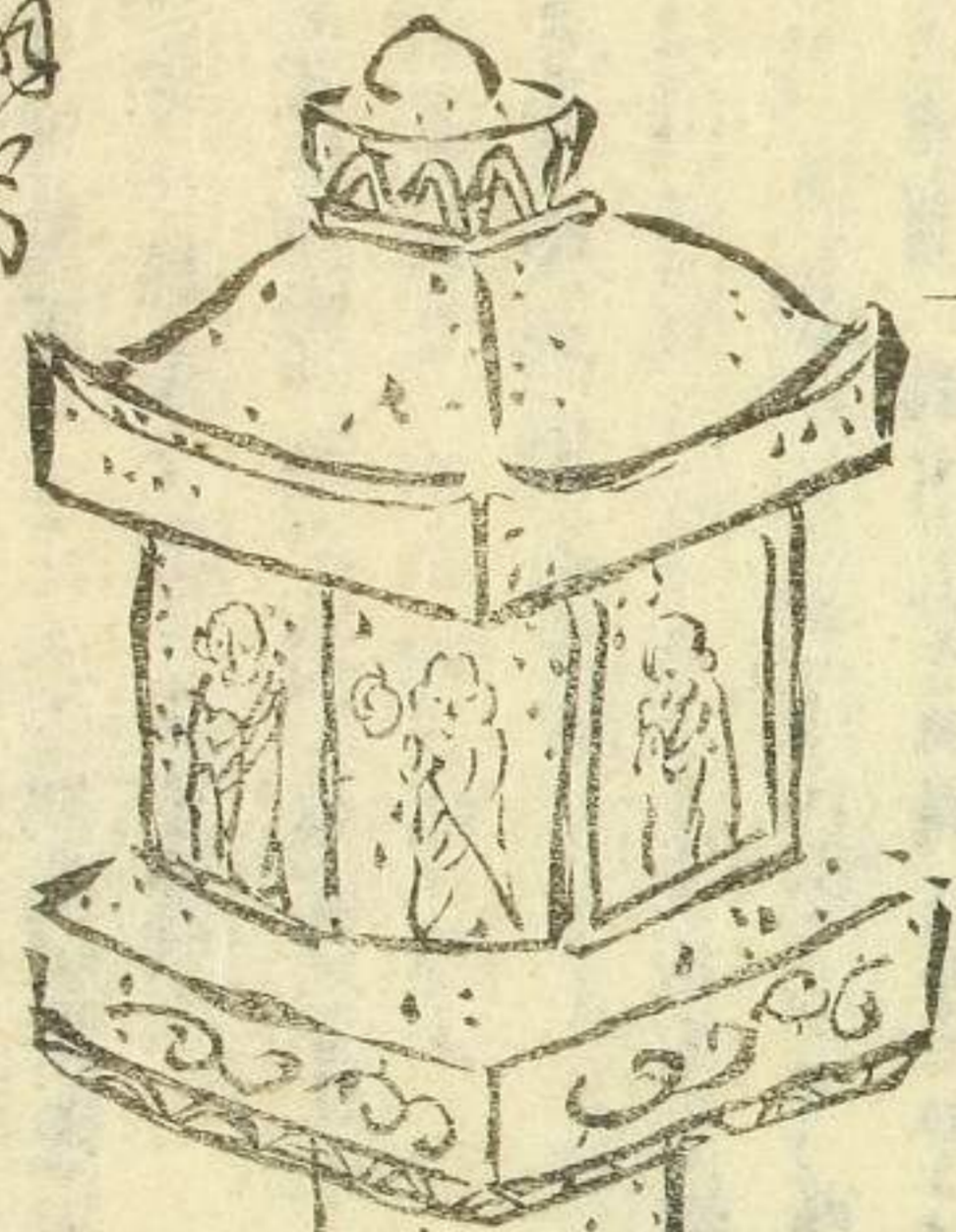
從保元之年

安政五戊年

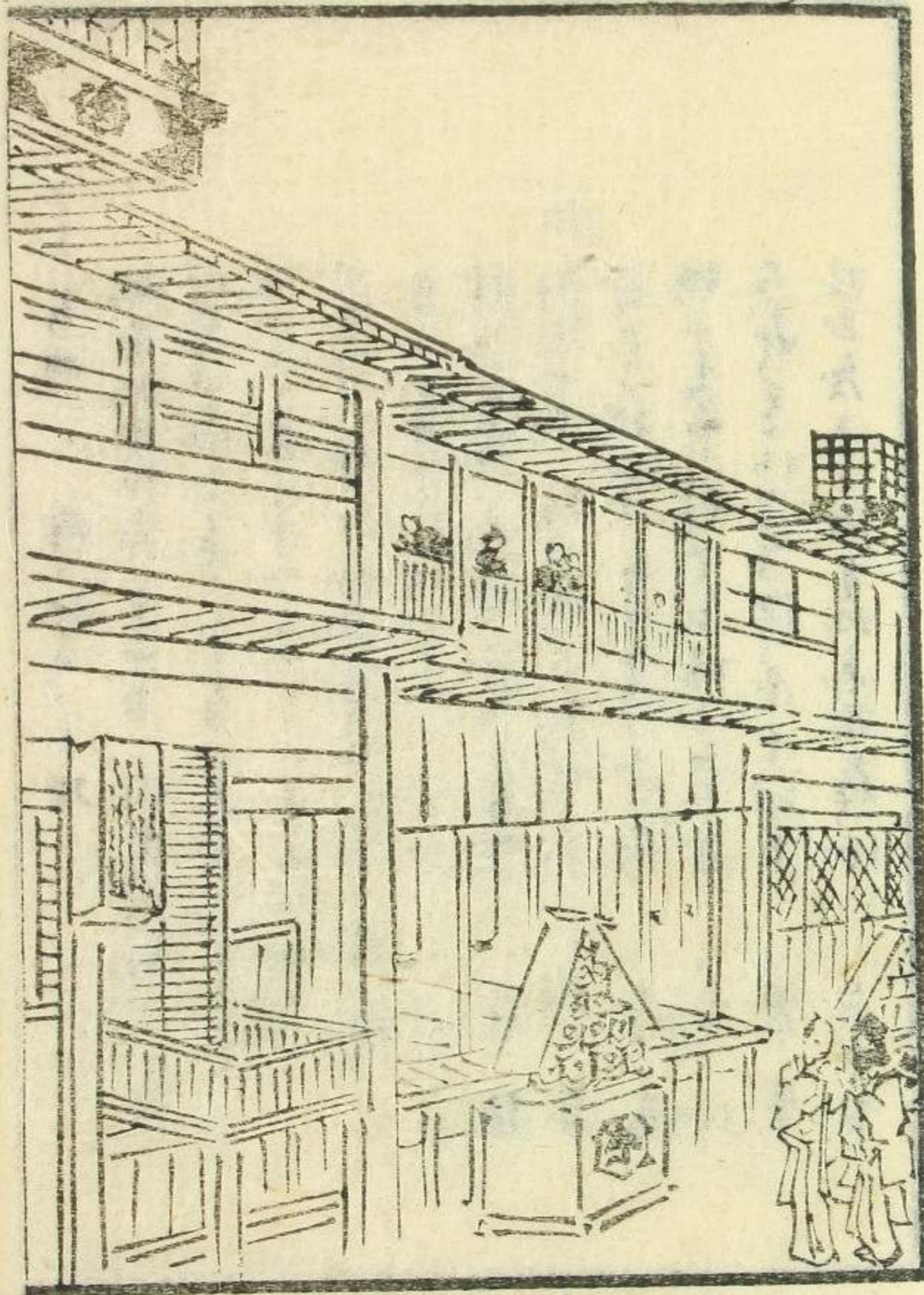
至凡七百步

歲

鳳翔







猿若町  
一丁目  
二丁目  
三丁目





たつ所 姥の池

新着中村産 三丁目 同多村産 二丁目

同森田産 三丁目 三丁目 二丁目 五枚中

同所産 同所産 同所産 同所産

同所産 同所産 同所産 同所産

同所産 同所産 同所産 同所産

同所産 同所産 同所産 同所産

同所産 同所産 同所産 同所産

同所産 同所産 同所産 同所産

同所産 同所産 同所産 同所産

姥の池

嘆くはりあり急之福壽州  
龍皇世帯のいも花の紋所  
何ぞゆき 昔はのこり 昔は  
いふは 丁より 昔は

知 興  
有 幸  
貞 之

春の伊波 姥の池  
夏は 姥の池  
秋は 姥の池

桂 風  
奇 美  
甘 泉

園

秋は 姥の池  
冬は 姥の池  
春は 姥の池

信 飯田  
星 布  
孤 月  
字 山

真乳山聖天宮



八景之內  
真土山之  
秋之月



善土山 別當天石宗金輪山本願院

古同年中の勸修寺一江左より是係乙

|   |   |   |
|---|---|---|
| 親 | 一 | 求 |
| 涼 | 文 | 聖 |
| 岩 | 修 | 枝 |
| 知 | 崇 | 山 |
| 海 | 左 | 波 |
| 燈 | 一 | 壽 |
| 晴 | 甚 | 水 |

土手乃指

乃利寺跡乃利不池橋乃丘

是系一物言一語言一少

塔

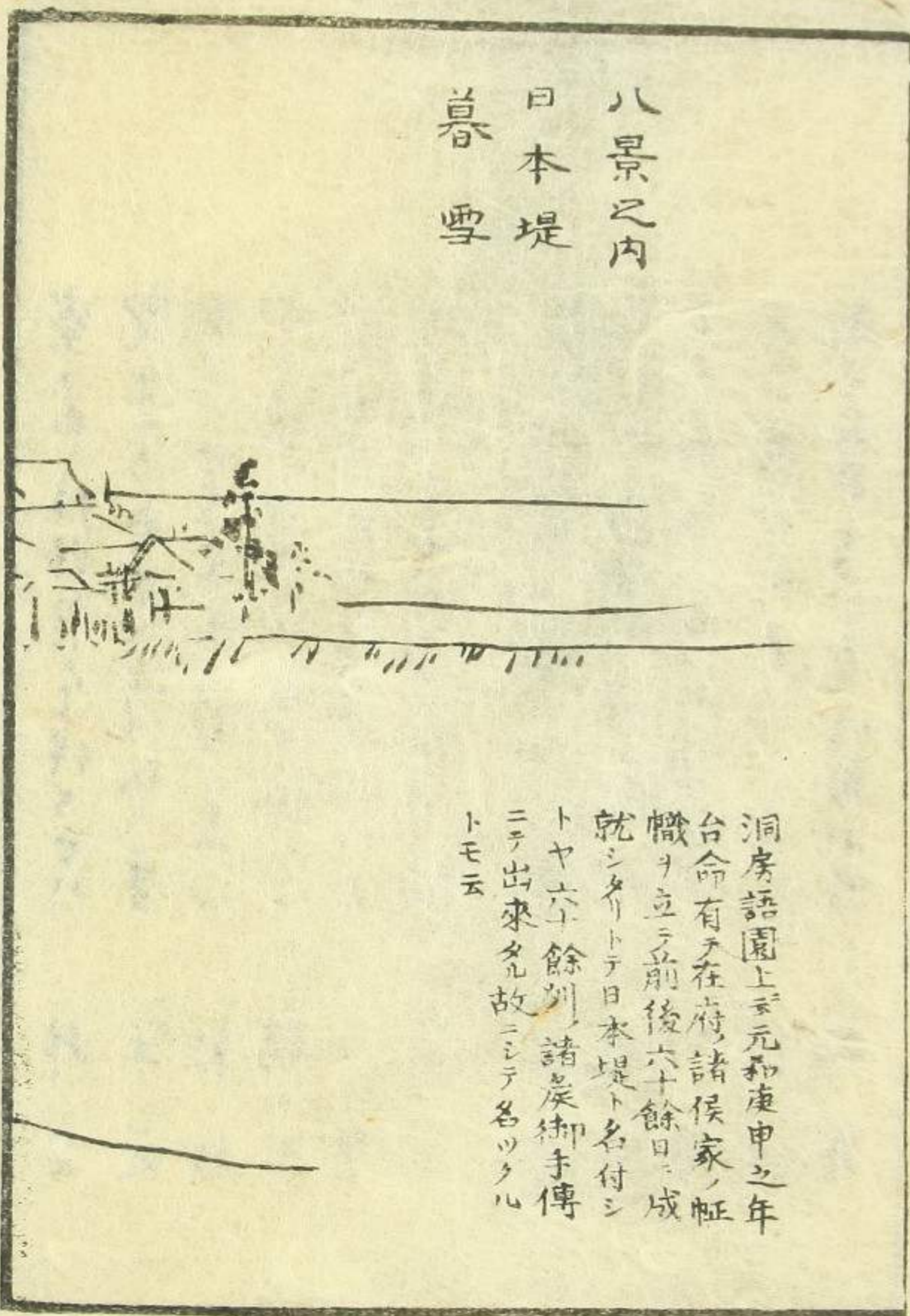
|   |   |   |
|---|---|---|
| 窠 | 外 | 金 |
| 呪 | 王 | 延 |
| 南 | 穀 | 秋 |
| 柳 | 櫻 | 家 |
| 目 | 蓮 | 賢 |
| 在 | 福 | 二 |
| 塔 | 玉 | 延 |
| 投 | 花 | 聖 |
| ま | 以 | 海 |
| 馬 | 吉 | 福 |
| 新 | 梅 | 壽 |

笠亭仙果画



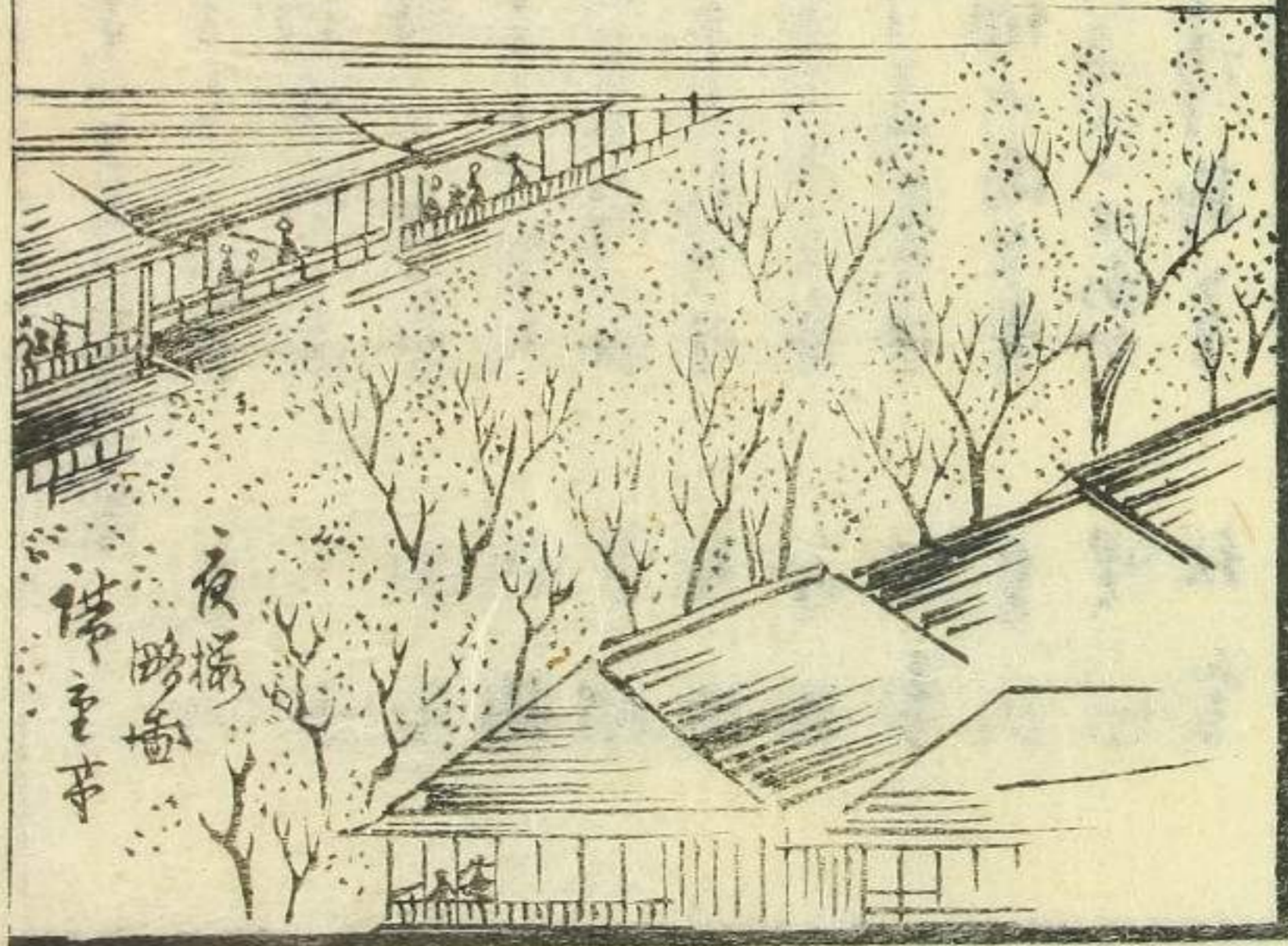
二十三

八景之内  
日本堤  
暮雪

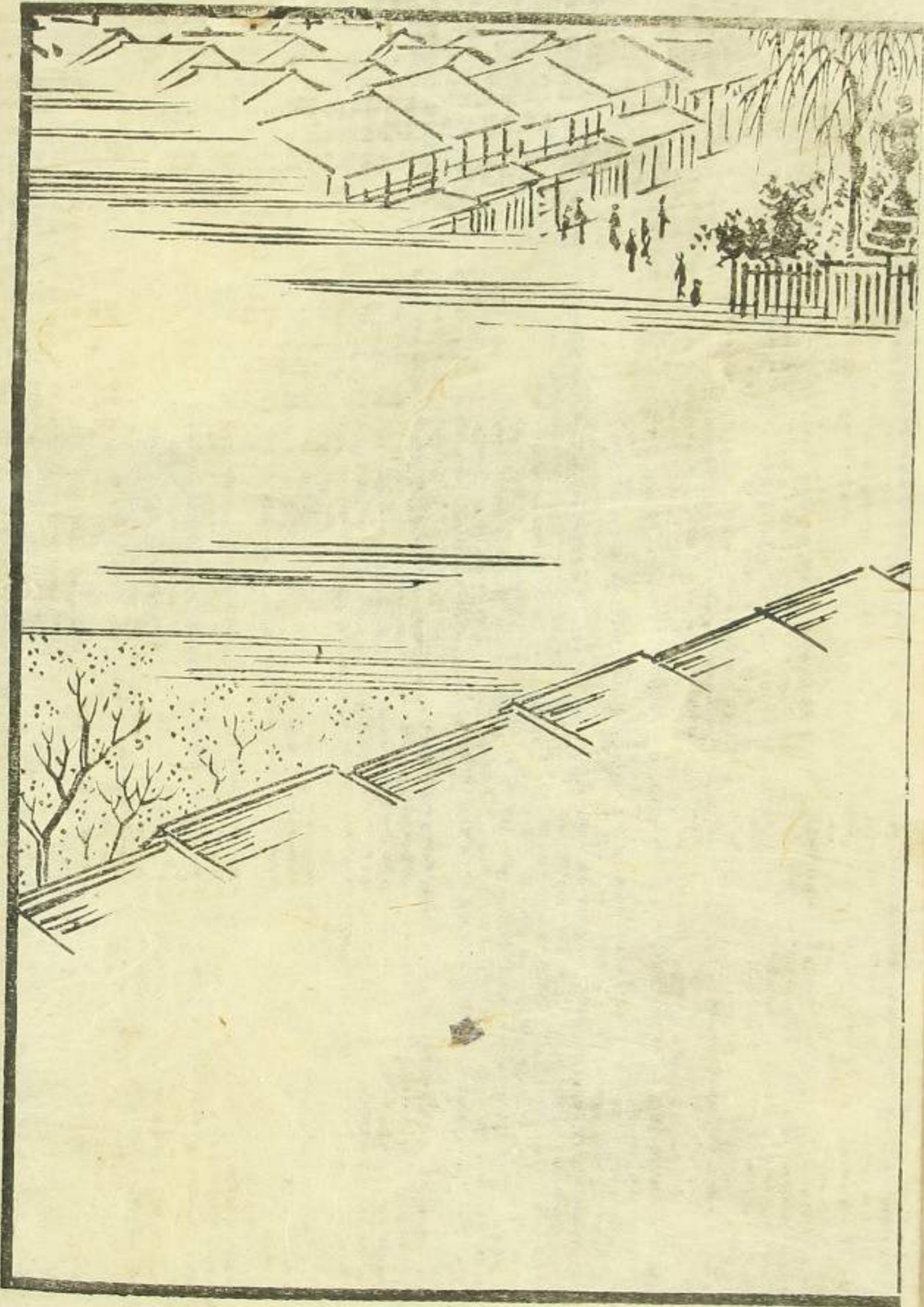


洞房語園上云元和庚申之年  
台命有子在府諸侯家、  
幟ヲ立テ前後六十餘日、  
成  
就シタリトテ日本堤ト名付シ  
トヤ六、餘列、諸侯御手傳  
ニテ出來名故ニシテ名ツタル  
トモ云

新吉原



夜橋  
新吉原







八景之内

浅弟原

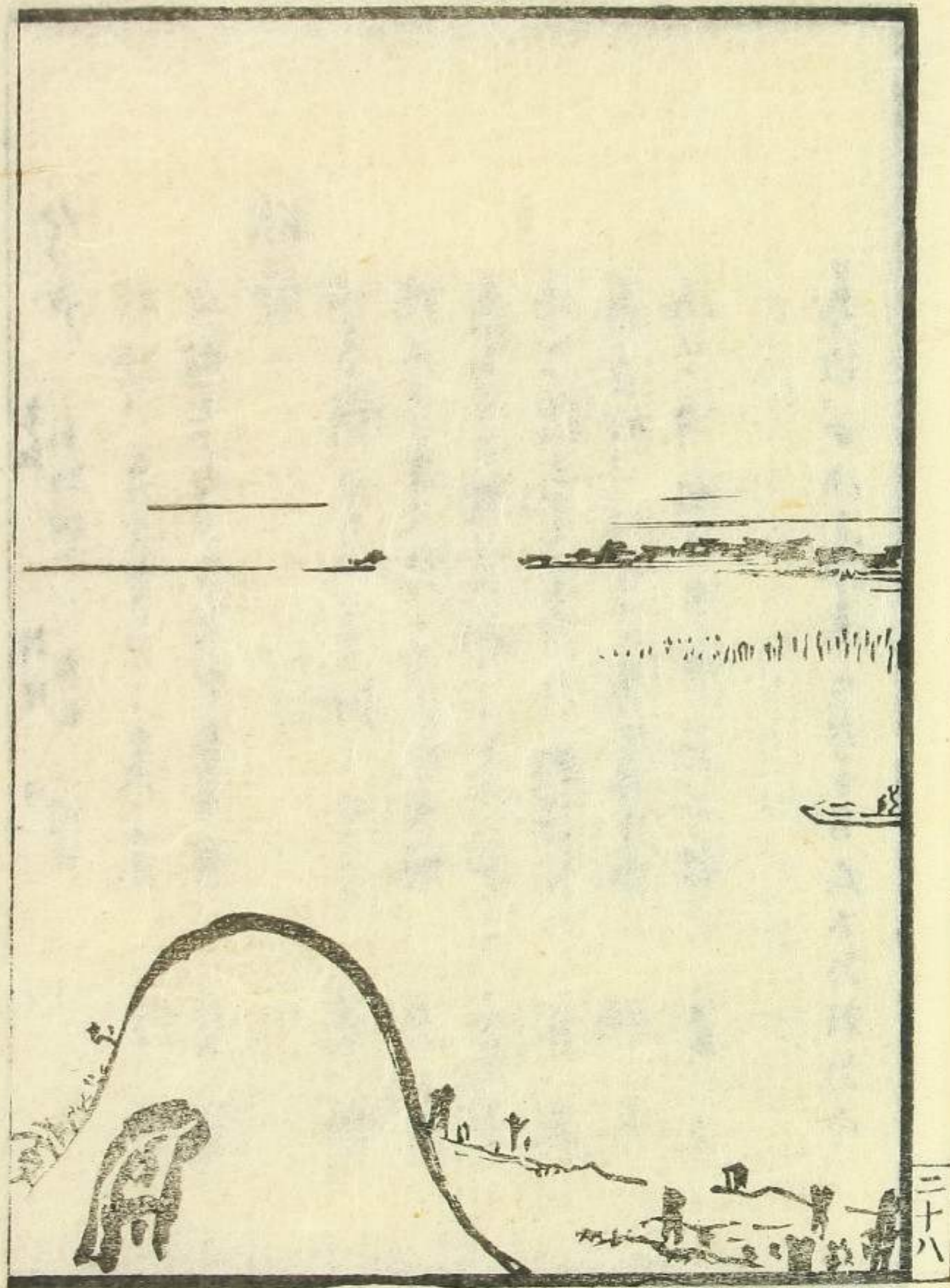
暗嵐

雨









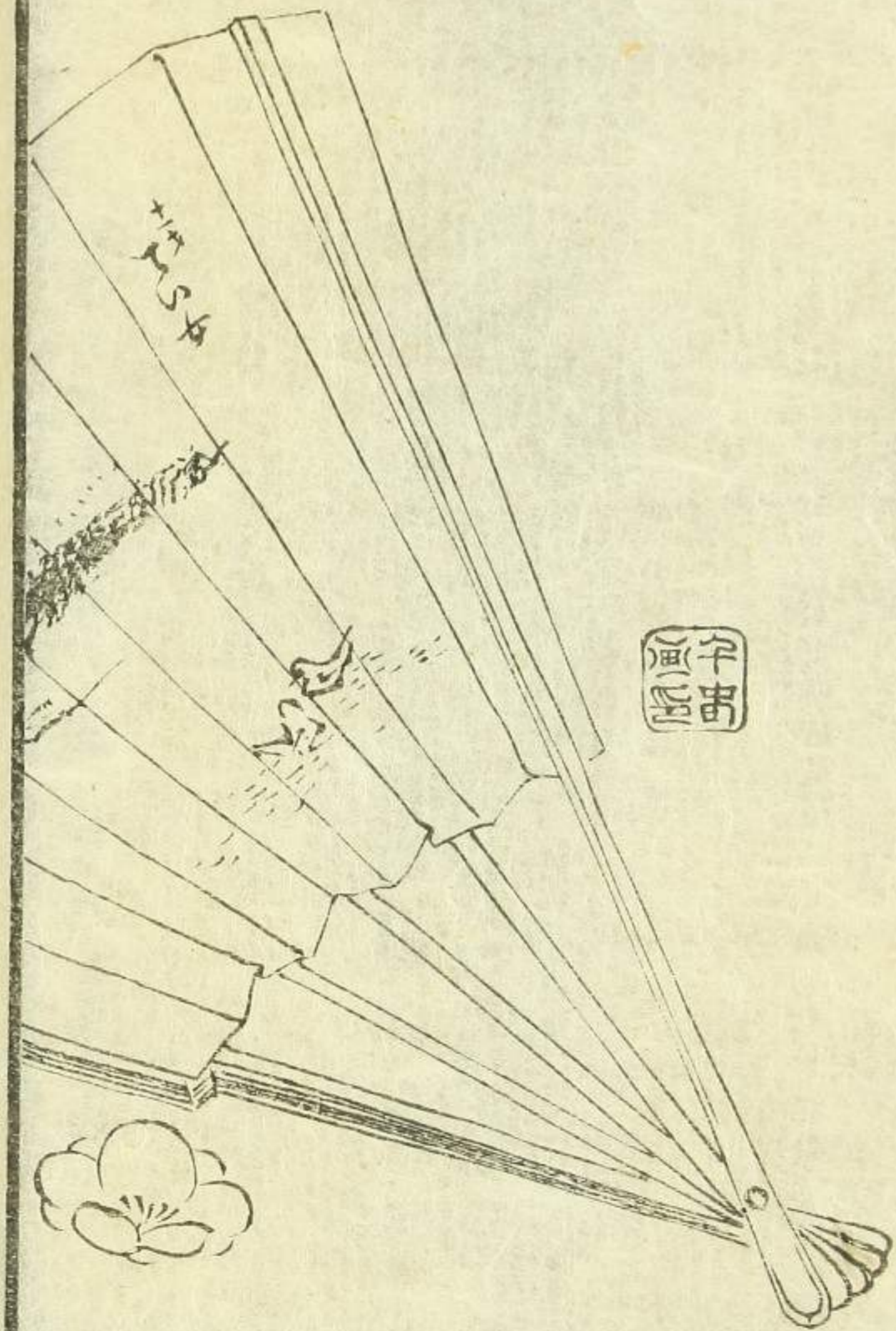
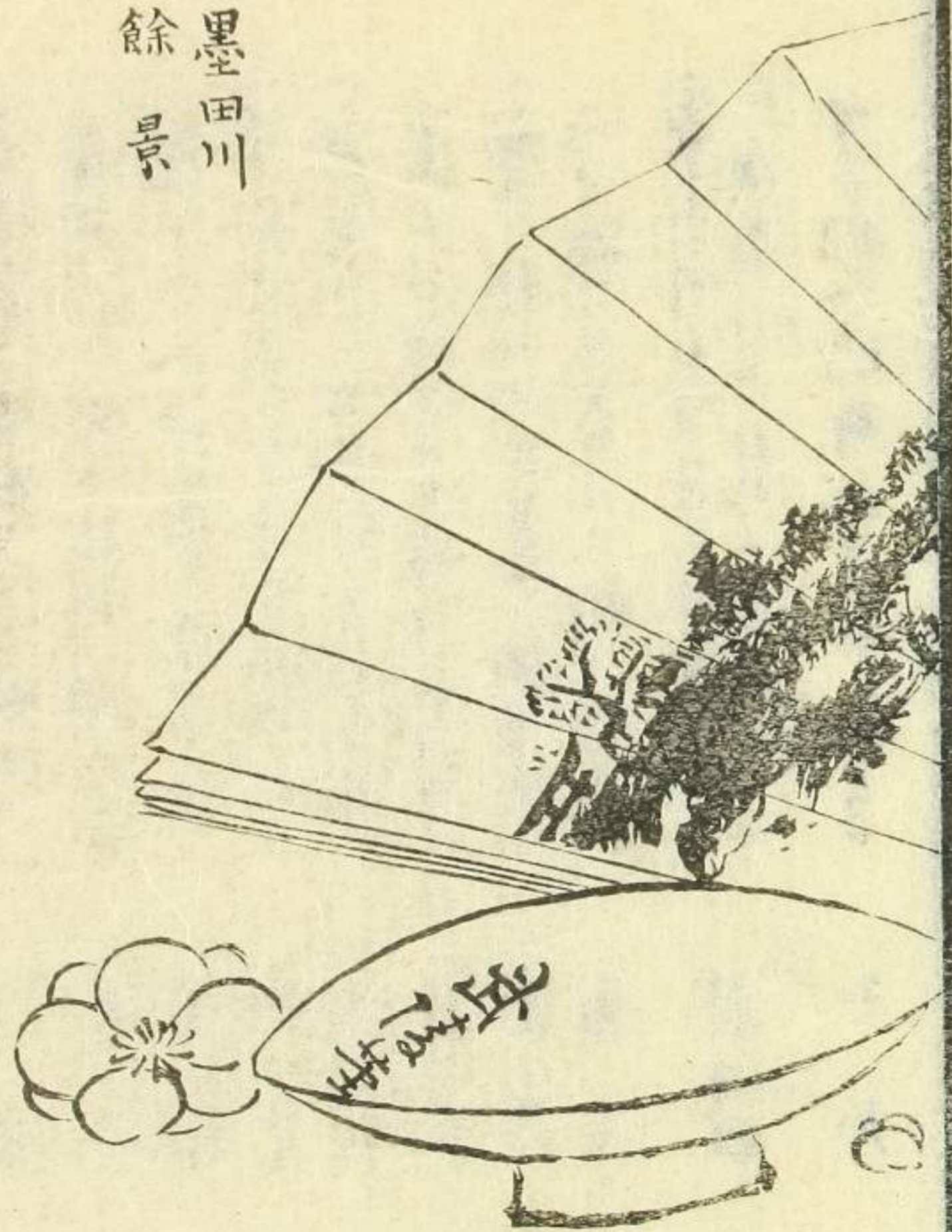
令戶橋場之圖



一  
壽  
年  
晴



墨田川  
餘景





小松燈中詠の徳はあやうき  
峯のふもとに流るる水はあやうき  
まはるる風はあやうき  
踊るる竹はあやうき  
運るる舟はあやうき  
吹るる雪はあやうき  
舞るる雨はあやうき  
揺るる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき

山 洋 伍 御 暖 深 芽 止 后 是 浦 城

湖のわがまはあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき  
まはるる舟はあやうき

湖 山 起 本 岳 大 十 曹 磨 文 海 梓 理

是なきは結ふおとくわさそ  
 年しき人うさるるや衣破り  
 夕暮りうさるるや衣破り  
 無事なるをいふ申す時多  
 旅人も皆さるるや衣破り  
 宿さるるや衣破り  
 梅さるる竹井さるる  
 舟さるる人さるる  
 舟さるる舟さるる舟さるる  
 舟さるる舟さるる舟さるる  
 舟さるる舟さるる舟さるる

如 乙 山 素 乙 五 民 風 様  
 曉 也 子 屋 良 渡 氏 賦 風 様

天地を志すは万物を以て  
 風俗を其道を志すは  
 求之性の詩の心を  
 程の所の心を  
 探るる其の心を  
 時々の一語を

あはれなる行方

玉画索一求









